

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北風と太陽 丸岡		
○保護者評価実施期間	7年 1月 8日		7年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	7年 1月 8日		7年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワンフロアの為、全体が見やすく職員の連携が取りやすい。	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士声をかけあって支援しています。 活動担当が活動記録に細かい職員の動きを記載し、朝礼で共有することで、無駄のない動きができるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ワンフロアで声が響く為、聴覚過敏の児童に対する支援をイヤマフ以外にも検討していきます。
2	実施記録やLINEで様子を伝えることができている。	<ul style="list-style-type: none"> 送迎前には職員間で共有を行い、保護者に伝えることの確認を行っています。 送迎後には保護者の様子などを児童発達支援管理責任者に報告しています。 祖母対応などの場合は母にLINE・電話をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員がより意識を高め、自主的に行えるようにしていくことで、児童発達支援管理責任者への報告などの業務を少しずつ減らしていくようにしていきます。
3	活動を通して、集団生活の練習ができている。(ルールなど)	<ul style="list-style-type: none"> 活動の記録を都度振り返り、次に繋げるなど活用できています。 活動のねらいを定め、朝礼で共有することで統一した支援ができています。 スケジュールに沿った流れを確認できています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性に合った活動内容をより提供しているよう活動担当を中心の話し合いを行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが少なく、クールダウンスペースなども提供できていない。	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童に対して、活動スペースが狭い。 利用児童人数が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容に合わせて、机を動かすなどの工夫を継続していきます。 時間を決めるなどして、遊び方の工夫をしていきます。
2	交流会など、行事としての保護者支援の回数が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 全事業所での交流会を設定するとなると、人員確保やスケジュールリングなど、ハードルが高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間でより協力し合える体制を整えていきます。 各事業所で茶話会を行うなど、小規模で保護者間交流の機会を設けていきます。
3	避難訓練の詳細を伝えることができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 配布書類には流れなどの詳細までは記載していない。 利用曜日が全員違う為、口頭では伝えきれなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 流れなどをHPに記載していきます。 年に一度配布しているお知らせに流れなども記載していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 北風と太陽 丸岡

公表日 7年 1月 31日

利用児童数 4人

回収数 2人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1	1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1			1	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				2	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1			1	毎回実施記録も細かく記入しているし、LINEもくれるのでありがたい。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1			1	毎回楽しみにしています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1			1	保育園休みたいと言っている時に、「今日北風の日だよ」と言うと「行く」というぐらい楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	1			1		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	北風と太陽 丸岡	公表日	7年 1月 31日
------	----------	-----	-----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		ワンフロアで、死角が少ない為見渡しやすく、職員間の連携が取りやすいです。体を使う遊びなどは、時間を区切るなどして危険がないよう対応しています。	ワンフロアの為、個室を設けることはできませんが、今後子どもたちの状態に合わせて都度工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	聴覚過敏の児童に対して、イヤマフをつけるなどの対応をしています。視覚支援を活用しています。	クールダウンスペースなど、個室を提供できていません。できる限り落ち着いた気持ちで過ごすことができるよう支援していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	不都合があった場合はすぐに職員間で共有しています。日々の掃除+月2回の大掃除を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	活動スペースと学習スペースの使い分けはできています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	アンケートの活用ができています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	業務日報などを活用して、日々の振り返りを日常的に行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内研修を月に1度行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			来年度から支援プログラムを公表して活用していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		送迎時など、都度保護者に聞き取りを行い、支援に繋がっています。児童との関わりの中で、要望や目標などを確認しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画書作成に伴う会議だけでなく、日々の情報共有からも落とし込んでいます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	実施記録や業務日報など、毎日記録する書類があります。	非常勤職員など、保護者対応をしていない職員もいます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		作業療法士と都度確認しながら作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		できるだけ多くの職員が参加するようにしています。	非常勤職員などは参加できない時もあります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	3か月更新で設定しています。曜日や児童の特性に合わせて提供しています。	非常勤職員で、活動作成に直接関わっていない職員もいます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	作業療法士と都度話し合って作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼時に細かく確認できています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		業務日報を活用し、送迎後に児童発達支援管理責任者に保護者の様子などについて報告を行っています。	非常勤職員で、業務後の打ち合わせに直接参加できない場合があるが、朝礼ノートを活用しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	実施記録・業務日報を活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		更新期間内に、マニュアルに沿って作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者のみ参加し、全職員に共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	移行支援会議に参加しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	4	子ども発達支援センターと連携し、保護者支援についての研修を行っていただきました。	様々な知識をつけていけるよう、今後も連携を深めていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		他事業所との合同活動など、今後より増やしていきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		送迎時に祖父母対応が多い為、報告漏れなどがないよう気を付けていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	交流会や運動会などを行っています。	回数が少ない為、より増やしていけるよう職員間で連携を図ります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		Instagramを活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		地域のお祭りなどへ参加していきます。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	月に一度、研修を受けています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	利用開始時・面談時のアセスメントで把握しています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	利用開始時・面談時のアセスメントで把握しています。	医師と直接やり取りをしているわけではない為、医療機関との連携も検討していきます。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北風と太陽 丸岡		
○保護者評価実施期間	7年 1月 8日		7年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25世帯	(回答者数) 13世帯
○従業者評価実施期間	7年 1月 8日		7年 1月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ワンフロアだから連携が取りやすい。死角が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援中、職員間で声を掛け合って連携を取っています。 ・グループライン・朝礼を活用して情報共有を行っています。 ・送迎前には情報共有を行い、保護者に伝える内容の確認を行っています。 ・送迎後には保護者の様子について児童発達支援管理責任者に報告しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も当日の動向が分かるよう担当をしっかりと決めていくことで安全確保を行います。
2	実施記録+LINEなど、保護者に合わせた報告の仕方をする ことで細かい共有を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、母以外の対応の時は、LINEや電話で連絡しています。 ・怪我などがあつた際は当事者・児童発達支援管理責任者が対応しています。 ・小さなことも保護者に共有することで、予防ができるようにしています。(体調の変化など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続し、保護者からの意見は素直に取り入れていくことで支援の質の向上に努めます。
3	児童の特性や利用曜日なども考えながら活動を提供している。 3か月繰り返すことで連続性を	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月ごとに活動内容を変更し、3か月間は連続性を持った活動を提供できるよう工夫しています。 ・活動記録の振り返りを朝礼で行うことで、次の支援に繋がっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会で活動を実際に見てもらおうなどしていきます。 ・送迎時には活動のねらい・結果などを伝えることで意味合いを知ってもらえるよう努力します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童に対して、活動スペースが狭い。 ・利用児童人数が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を決めて身体を動かす遊びをするなどして、安全確保を継続していきます。 ・活動の際は机を移動するなどしてスペースを広くできるようにしていきます。
2	中・高・就労に向けた移行支援の経験がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児童の中で、未就学児・小学生が多い。 ・知識・経験不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所の見学に行くなどして、知識を増やしていきます。 ・相談員との連携をより密に行い、サポートの幅を広げていきます。 ・事業所内研修などを活かして知識を付けていきます。
3	地域交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に特性の理解を得るなど、ハードルが高い。 ・事業所間での交流の機会を設けることができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自事業所でのイベントを開催し、地域の方にも参加して頂くことで、特性についての理解を深めてもらう。 ・坂井市の事業所会などで、事業所間の関わりをもっと増やしていけるよう努め、地域交流に繋がっていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 北風と太陽 丸岡

公表日 2007年1月31日

利用児童数 25人

回収数 13人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	4		3	ボール遊びなど身体を動かす活動をする際は狭いのではないかと。十分ではないが、工夫していると思う。	時間を決めるなどして遊び方の工夫をしていきます。 屋外活動の機会を増やしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				見てすぐ分かるようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1		1	子どもの多動もある為、狭いと感じる。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				毎月の予定を見て姉妹が羨ましがっている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2		1	他事業所との交流をまたしてほしいと子どもが言っている。	また企画していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1			毎回わかりやすく説明してくれている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4		1	努力は見られるが、実施は難しいと感じる。	勉強に励み、より保護者支援を提供できるよう努めています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12			1	細かい連絡が助かる。よく話を聞いてもらっている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				面談などで長い時間聞いてもらっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	12			1	もっとたくさんあると参加しやすい。	機会を増やせるよう職員間で連携していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	1	3	努力している。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1		1	口頭・記録での説明で分かりやすい。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2			写真サービスが楽しみ。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		3	説明は受けるが、訓練のことまでは分からない。避難訓練の日の利用がないから分からない。	HPに記載します。もしくは、年に一度配布している書類に詳細を記載します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		2	詳細が分からない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		2	その場面になったことがないから分からない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2			利用前日にはやけている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				中～高の活動プログラムや計画を公開してほしい。	他事業所の見学などを行い、まずは知識をつけていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		北風と太陽 丸岡		公表日		7年 1月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		広さはありませんがワンフロアで見やすい為、職員間の連携が取りやすいです。自由時間に体が動かせるスペースが少ない為、その場に合わせて環境を変えています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	視覚支援を活用しています。聴覚過敏の児童や、クールダウンが必要な児童にはイヤマフを活用しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の掃除に加え、月に2回大掃除をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	個室はありませんが、トイレ前に小さなクールダウンスペースがあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎月事業所内研修、事業所内ミーティングを行っています。	非常勤職員は直接参加が難しい時もある為、記録の活用を継続していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	朝礼、ミーティングを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		毎月事業所内研修を受けています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		来年度からは新プログラムを計画しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	実施記録や業務日報にて確認を行い、職員間で情報共有を行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員間で話し合いながら活動を決めています。	非常勤職員は直接活動作成に携っていませんが、意見などは今後も取り入れてより良い活動を提供していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	曜日や児童の様子を見て工夫しながら行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼時に毎日行うことができます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援後に職員間での話し合いの場を設けています。	非常勤職員は話し合いに直接参加できない時もありますが、朝礼ノートで共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子ども会議、選択活動など活動に取り入れて行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校お迎えの際は都度情報共有を行い、支援に繋がっています。定期的に送迎の組み合わせも見直しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	まだ事例がありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		関わりが少ないため、今後は活動に取り入れられるようにしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		非常勤職員で保護者対応をしていない職員もいます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムを活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用開始時のアセスメント・面談の際に確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年に2回研修を実施しています。 また、委員会でも話し合いを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			